

特別公開授業「博物館経営論」「博物館実習Ⅰ」

## 「これからの美術館について」

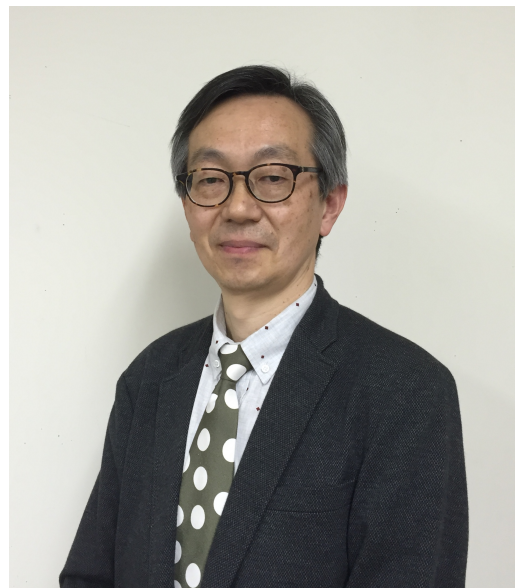
日時：2017年4月21日（金）17:30～19:00

場所：金沢美術工芸大学 第1教室

金沢 21 世紀美術館、**新館長、島敦彦氏**を迎えて、本学博物館学芸員課程担当教授小松崎拓男先生との対談形式で美術館の現状と展望を語っていただきます。公開授業です。履修者以外の学生、大学院生、一般の方の聴講も可能です。



小松崎 拓男教授



島 敦彦館長

島 敦彦 (Atsuhiko Shima) 金沢 21 世紀美術館館長

1956 年富山県生まれ。1980 年早稲田大学工学部金属工学科卒業。同年 4 月より富山県立美術館建設準備室に入り、91 年まで富山県立近代美術館、92 年から 2015 年 3 月まで国立国際美術館（大阪）、同年 4 月から 2017 年 3 月まで愛知県美術館館長、2017 年 4 月より現職。これまで、榎倉康二、内藤礼、安齊重男、小林孝亘、OJUN、畠山直哉、オノデラユキらの個展を手がけたほか、2010 年には「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」、2013-14 年には「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」を担当した。現代美術の動向を絶えず注視しつつ、近年は、舞台やダンス・パフォーマンスにもできるだけ足を運ぶようにしている。

小松崎 拓男 (Takuo Komatsuzaki) 金沢美術工芸大学教授

1953 年生。学習院大学大学院博士後期課程中退。NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]学芸課長、広島市現代美術館学芸課長、同副館長を経て 2007 年より現職。絵画からメディア・アートなどの先端領域の美術表現を含め、幅広い視野で現代美術の展覧会を数多く企画している。専門分野は博物館学、近現代美術。

主な展覧会「TOKYO POP」（平塚市美術館）「New Media New Face / New York」（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]）「絵画新世紀」（広島市現代美術館）「菅木志雄-在ること」（金沢美術工芸大学アートギャラリー）「富井大裕 つくることに必要なこと」（同）など。